

自然の中でリフレッシュ 保養に最適な、市民保養所 まずは申し込んでみましょう

REPORTER'S EYE



近くのスキー場では、一部スノーボードも可能になりました。少し足を伸ばせば春スキーも楽しめます。また、ゴールデンウィーク後は新緑を堪能できる穴場シーズンだとか。

問い合わせ市民活動支援課へ内線2512

【リポーター】

大塚仁美さん(上奥富在住)



リポーターズアイでは、行政のしくみや話題性のあることがら、市内のいろいろな施設などを、市民のかたがリポートします。

皆さんは、市民保養所をご存じですか？これは、市内在住、在勤のかたの余暇活動や保養の促進を目的として平成元年から開設しているもので、今年度は、9つの貸別荘やリゾートマンション(8棟・17室)を借り上げています。このうち軽井沢貸別荘(箱根リゾートマンション)、猪苗代(リゾートマンション)、津南(貸別荘とバンガロー)、千葉横芝(民宿)、西伊豆大瀬崎(旅館)、東伊豆城ヶ崎(貸別荘)の8施設は夏休みシーズンを中心に開設しているものですが、草津のリゾートマンションは年間を通じて3室が利用できます。

そこで、今回は市民活動支援課の増嶋課長とともに実際に施設を訪ねてその魅力を探ってみました。草津といえは温泉ですが、春の新緑夏の避暑秋の紅葉、そしてこれからのスキーシーズンといつ行っても楽しめますよね。利用料金はどの施設でも、シート代など1人1回500円というのも魅力です。はじめは、低料金だけに不安でしたが、とてもきれいな部屋をはじめ、大きな温泉浴場など、どれも満足できる内容でした。さらに、特筆すべきは併設するクアパークやゴルフのショートコース、テニスコート、それにホテル内にあるレストランなどさまざまな施設が特別割引で利用できるということ。施設のかたによると、「狭山市のかたはとてもマナーが良いので、安心して貸し出せます。」とのこと、私も狭山市民の一人として嬉しく思いました。

平成11年度の草津の利用者は2千774名だそうです。多くのかたが訪れ、満足して帰られたのだと思います。増嶋課長に利用者の感想を伺ってみると、「のんびり温泉を楽しみました。外湯も利用できて良かった。」と、安く利用できて満足、「といった声が多く聞かれました。市営の保養所を持たずに借り上げ方式を用いている市町村は近隣にはないとのこと。これは、常にアンケートなどで利用者のニーズを把握し



部屋はとてもきれいです。2回以上の利用者が多いというもうなずけます。

より希望に添える保養所を提供するため、必ずしも毎年同じ施設ではないそうです。気になる申し込みと利用者の決定方法を伺うと、「2か月ごとに6回、抽選によって決まります。まず、申し込み期間内に市民活動支援課、各出張所・公民館、図書館に用意してある専用はがきで第2希望日まで記入して市民活動支援課に申し込んでください。抽選は公開で行います。抽選にもれたかたは、追加受け付けの日から先着順で受け付けます。さらに空き室がある場合は、申し込みをしなかったかたも含め、一般受け付けとして申し込みますよ。」と教えてくださいました。

平成11年度の全施設の利用率は、83・3%とのこと。常に満室かと思っていたら、空いている日もあるんですね。12月15日から草津の1・2月利用分の空き室の一般受け付けが始まります。また、3・4月利用分のはがきの申し込み期間は平成13年1月4日(31日)です。私も早速申し込んで、当たったらスキーを楽しみたいと思います。温泉もあって若い人から高齢者のかたまで、楽しめること間違いありません。皆さんも申し込んでみてはいかがでしょうか。